

「卒業生もがんばっています!! 進学・就職先からのメッセージです」



九州大学大学院 総合理工学府
環境エネルギー工学専攻(博士後期課程) 1年生
松尾 淑美さん

平成17年度 工業進学コース卒業

従来のガス給湯器等は一次エネルギーを直接燃焼させているので、CO₂排出量が多く、地球温暖化防止の観点から問題であると言えます。そのような状況下で、エコキュートの開発、普及が進められています。私は、主に熱エネルギーの伝わり方の把握(伝熱特性の把握)や伝わりを良くする事(伝熱促進)を目的として研究を進めています。

私は、高校1年時の成績はクラスで30番台でしたが、機械系分野に大変興味を持ち、積極的に勉強するようになりました。皆さんもぜひ自分のやりたいことを見つけて、有意義な高校生活を送ってください。



福岡市役所 水道局 配水部 中部管整備課
設計第2係
渡邊 幸紀さん

平成21年度 都市工学科卒業

私は福岡市役所の技術系職員として、市民の皆さんのため「安全で良質な水の安定供給」「災害時のライフラインの機能強化」「効率的な配水」を目標に、施設・設備の設計、施工監督、維持管理等の業務を行っています。

福工で培った明るさや挨拶は、就職後も職場でのコミュニケーションや業務を行う中で活かされています。また、福工で学んだ専門の知識も様々な場面で活用しながら頑張っています。

**23年度進路状況 ~充実した学校生活で確かな進路~
【最新進路情報は学校HPで公開中】**

我が国の雇用情勢は未だ不透明で、大卒でも就職内定率71.9%(12月1日現在)という状況です。そのような中、本校は1月17日に9年連続となる就職内定率100%を達成いたしました。いずれも日本を代表する企業や地元の優良企業に正社員としての採用です。

進学においても国立大学・国立高専に延べ23名、私立大学や専門学校を合わせると122名が合格し、希望者の96.8%が現役で進学が決まりました。

近年、本校卒業生に対する企業や大学からの期待を強く感じます。「楽しく充実した学校生活を送り、確かな進路を手にする」そんなTEAM FUKKOのメンバーにあなたが加わって、さらに元気のある学校にしてくれることを私たちは期待しています。

平成24年2月1日 ー 進路指導部 ー

■制作 福岡県立福岡工業高等学校 企画広報部
〒814-8520 福岡市早良区荒江2-19-1
TEL 092-821-5831 FAX 092-822-5837
URL <http://fths.fku.ed.jp>



携帯電話用QRコード

Active FUKKO

福岡県立福岡工業高等学校広報誌
企画広報部発行
平成24年3月



ジャパンマイコンカーラリー2012全国大会

マイコンカーラリー同好会 全国優勝!!

ジャパンマイコンカーラリー2012全国大会が、平成24年1月9日(日)に北海道札幌国際情報高等学校で行われ、総勢約2,500台が参加した全国12地区の予選大会を勝ち抜いた高校生の愛車、計144台が日本一を目指してスピードを競いました。九州地区代表として出場した福岡工業高校は、工業進学コース3年井上翔太君の優勝をはじめ、準優勝、特別賞など各賞を独占しました。マイコンカーラリーとは、コース上の白線をセンサで読取り、自立走行するロボットです。全長約60mのコースで走行タイムを競います。部長の大倉君は、「速さを追求するために、軽くて、剛性が高く、コンパクトなマシンの製作に取組んできました。常にモチベーションを高く持ち、チームで知識を共有することでタイムの短縮を図ることができ念願の全国優勝を勝ち取りました。全国大会で優勝して改めて先生、先輩、チームメイトの大切さに気づきました」と喜びを表しています。

【受賞生徒】

- ★優勝(文部科学大臣賞)
工業進学コース 3年 井上 翔太(原中学校出身)
- ★準優勝及びベストタイム賞 16秒22
工業進学コース 3年 大倉 崇暢(西福岡中学校出身)
- ★特別賞 工業進学コース 3年 井手 佑一(野間中学校出身)

第21回福岡県高等学校生徒研究発表会 最優秀賞
第70回全日本学生児童発明くふう展 特許庁長官賞



電気工学科

受賞生徒く向かって左から>

- 西野 佑希 (原中央中学校出身)
- 岩永 高明 (二日市中学校出身)
- 城野 祥慶 (姪浜中学校出身)
- 川本 佑 (春日野中学校出身)
- 宮園 慧 (次郎丸中学校出身)
- 芦原 将和 (城西中学校出身)

「目の不自由な人のための交通信号機」

街には光があふれています。私たちは、健常者にとってはこの「見える光」というものを、光を感じにくい目の不自由な人たちのために活用するという逆転の発想をしてみました。つまり、光に音声を乗せて送信し、それを音声信号にもどして活用し、目の不自由な人たちの役に立つようにするものです。新しいタイプの歩行者横断用信号機を開発し試作しました。この装置をとおして可視光通信の有用性を証明し、社会システムとして活用することを提案します。

福岡県高文連総合文化祭県大会合唱部門 最優秀賞【H24年度 全国大会出場決定】



グリークラブ部長 都市工学科2年 江藤 優太
 全国大会の出場が決まって最初に感じたことは、福岡県代表として全国大会へ行くということへの責任感でした。しかし、これから本番までの厳しい道のりは、今まで味わったことのない未知の経験ができるという点ではとても喜ばしいことです。ここまでの歩みは先生方や保護者の方々をはじめ多くの人々の応援があったからです。まだまだ未熟で半人前の僕たちですが、夏に富山県で「福工グリー」を表現できるよう準備を重ねていきます。これからも応援よろしくお願いします。

福岡県高等学校新人水球競技大会 優勝
九州高等学校新人水球競技大会 優勝



水球部主将 都市工学科2年 深川 幹徳
 私たち水球部は「全国制覇」という目標を掲げ日々練習に取り組んでいます。福工全体にも「日本一」という言葉が飛び交っていますが、水球で日本一になるということは、それ相応の体力・技術さらに意識が必要になり、全部を含め最後まで勝った1チームがチャンピオンとなるのです。昨年10月に行われた九州新人大会では優勝をすることができました。ですが、私たちはこの結果に満足することなく、さらに上の舞台で頂点を取りに行きます。こうして好きなスポーツを一生懸命に取り組めるのも日頃から応援してくださっている先生方をはじめ、保護者の方々、OB会の皆様のおかげです。改めて感謝の気持ちを伝えたいです。

～H23年度 校内生徒研究発表作品～



染織デザイン科 「ストップモーションアニメの制作」

ストップモーションアニメの制作方法や技術を学び、私たちが登場する作品と、黒板に描いた絵が動く作品の2つを制作しました。



建築デザイン科 「住みたいまちなみの我が家」

社会的背景や「まちなみとは?」「住みたい家とは?」を考え、設計しました。



機械工学科 「アルミ缶太陽熱温水器の製作」

環境に優しいものづくりとして、アルミ缶による太陽熱温水器を製作しました。出湯量約35リットルとコンパクトな温水器になりました。



電子工学科 「ソーラー発電アシスト自転車」

電気の部分をソーラーパネルで発電し、エコで坂道でも楽な走行ができるソーラー発電アシスト自転車を製作しました。



情報工学科 「歩行ロボットの製作」

私たちは昆虫の蟻をモデルに、6足歩行ロボット「AMOY6」を開発しました。前後左右、真横に移動可能で段差を乗り越えたり、坂を登ることも可能です。



環境化学科 「燃料電池の製作」

私たちは、大きな震災による電力不足の問題を解決するため備長炭と食塩水を利用し、水素を燃料とした燃料電池を製作しました。



都市工学科 「被災者のための簡易組立ハウス」

災害などで避難生活を余儀なくされた方々に、少しでも日常生活に近い形で過ごしていただきたいという思いから開発した作品です。



工業進学コース 「ポケットバイクの研究」

ポケットバイクのキャブレター、エンジン、スタータなどを分解し、各機器の原理や構造について理解を深めました。